

# フクタニユリス

発行



(株)フクタ

## 夢を語る

一月六日は仕事始め、当日はフクタグループパークホテルにおいて新年会を開催しました。新年会では事前に提出していただいた各自の夢を発表し、優秀作を表彰しました。大きな夢や、身近な夢、いろいろな夢を聞くことができ、夢を持つことの大切さを感じました。表彰された夢は以下のとおりです。

- ・ 歌手になる(ちゃんとしたプロの)
- ・ スケートの羽生選手に会う
- ・ プロ野球の20勝投手になる他いっぱい
- ・ フクタを引っ張る人になる
- ・ 20年後息子と酒を飲み交わす
- ・ フクタビルが建つ

福田運送	田口 忠志
福田運送	工藤恵美子
福田運送	大久保義江
フクタ	内田 敦
フクタ	田頭 敏光
フクタ	山口 美歌

その他宝くじを当てる。日本一周する。豪邸を建てる。美味しいものをたらふく食べる等、いろいろな夢が寄せられました。その後、フクタ、福田運送対抗で余興合戦となり、和気あいあいの中、閉会となりました。そして、ひそかにみんなの夢に...

### 来年も新年会をすること！



鏡開き



腕相撲



(≧w≦)



スリッパリレー(^-^)



カラオケ大会



## 社長の履歴書⑩

前回まで石材業の需要のお話をしてまいりましたが需要だけでなく工場をもち、原石から加工して墓石をつくるということから、原石の産地である中国やインドで加工済みの石材が格安で仕入れられるようになりました。販売力があれば工場を持たなくても、石材店を経営することが可能となり、新規の石材屋が出店するようにもなりました。そのことで、需要の減少とともに販売競争が起き、100万円を切る価格にて見た目には素晴らしい墓石が建てられるようになったのです。従来の考えで経営する石材店はかなり厳しい経営を強いられております。ただ、小規模で家族経営の墓石店では従業員にかかる経費がないため、このような時代にあっては強いのではないかと思います。さてそのようなことから時代に合う次の柱を立てる必要があると判断してのチャレンジが始まります・・・(続く)

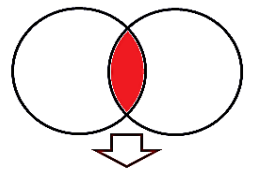
## 飽食の時代

飽食の時代といわれて久しい。イギリスには「5秒ルール」というものがあり、食べ物を落としても5秒以内に拾うと食べてもいいそうだ。日本でも昔はお構いなしに拾って食べた。おかげで多少のことでは腹痛など起こさない。2度嘔吐を伴う食中毒に感染したが、どちらも中央構造線以西に行った時であり、関西の菌は別物だと例外としている。最近、愛知県で廃棄食品の横流し事件が起きた。廃棄すべき食品を適正に処理しなかった杜撰さが露呈した。このこと自体は言い訳のできない悪である。しかし、そもそも日本は年間5,800万トンの食料を輸入し、1,940万トンを廃棄している。一人当たり152kgの食料が食べ残されているか、食べる前に捨てられている。明らかに供給過剰であろう。売り切れによる機会損失を防ごうとする売り手の論理と、消費期限に過敏な日本人のなせる業である。拾い食いはしないまでも、一人ひとり「食べきる」「使いきる」ことを心がけたいものである。



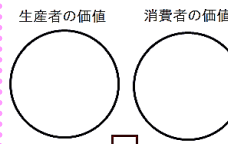
## ～価値の余剰～

お金は便利である。欲しい物はお金と交換することで手に入れることができる。お金がない時代は、物と物を交換することで欲しい物を手に入れていた。大根10本持った人とアジの開き10枚持った人が「お前の大根は細いのでアジは8枚でいいだろう」「いやいやお前のお前アジこそ小ぶりで薄いではないか」などと言い合いが始まり、物々交換ではなかなか取引がまとまらない。しかし、是が非でも大根が欲しいときは、アジを15枚払ってでも大根を手に入れることとなる。それでも損をしたとは思わない。大根が手に入って幸せだと思うのである。



取引成立

かように物の価値は、時代や地域や環境や人によって変わる。40万円のビトンのバックを安と感じる人もあるし、100円ショップの手提げ袋を高いと感じる人もある。今、大量に安くという志向は峠にさしかかっているのではないだろうか。碎石の価値に余剰を感じて、満足し、幸せになる製品やサービスはなにか考えるときかもしれない。



取引不成立

## お知らせ

4月1日より新規発注物件に対する再生粒度調整碎石RM40~0の製造と出荷を停止し、上層路盤材についてはM40~0として対応いたします。すでに納入している現場及び、契約済みの現場については引き続きRM40~0として出荷対応いたします。